



HiT Knowledge Base

概要 : Microsoft SQL Server 2005 と HiT OLE DB プロバイダでリンク ・サーバ作成

Topic ID: KBFAQ 1622 (10/17/2006)

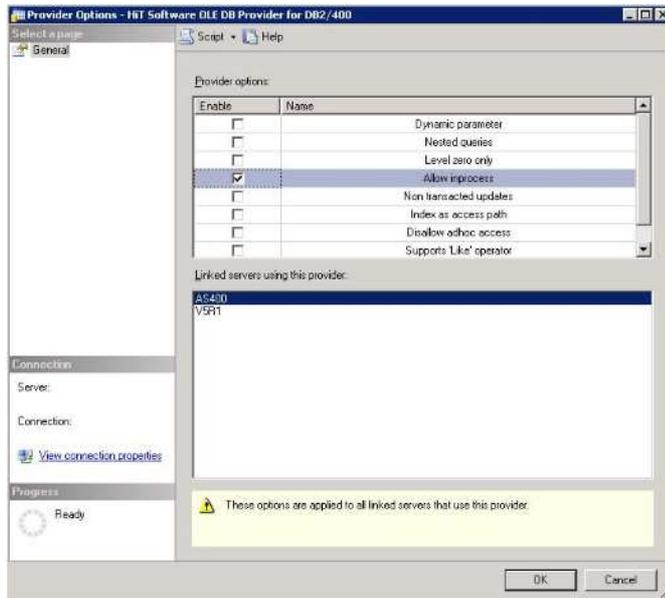
DB2 にストアされたデータの管理と SQL Server への統合を HiT OLEDB Server/400 または HiT OLEDB Server/DB2 と Microsoft SQL Server 2005 を使用して行うことができます。Microsoft SQL Server 2005 が提供する Distributed Query 機能を使用して、ネイティブなデータベースにストアされたデータを DB2 上のストアされたテーブル、MS Access ファイル、その他のほとんどのタイプのファイルと結合することができます。この機能を使用するには Linked Server を作成とユーザのリモート・データベースに接続する必要があります。

DB2/400 に linked server を接続する時は HiT OLEDB Server/400 が必要です。他のプラットフォームの DB2 には HiT OLEDB Server/DB2 が必要です。

linked serverw を作成する前に「Allow InProcess」プロバイダ・オプションを設定するこれに必要があります。これにより Microsoft SQL Server 2005 が Microsoft SQL Server 2005 アドレス・スペースに直接ロードして、HiT OLEDB provider DLL が使用できるようになります。

SQL Server Management Studio からプロバイダ・オプションの設定

1. Start\Programs\Microsoft SQL Server 2005 **メニュー**から SQL Server Management Studio をクリック
2. Server Objects/Linked Server セクションから Providers を選択
3. Right-click on the HI TOLEDB プロバイダ・ネームから右クリックし、Properties オプションを選択
4. 「Allow inprocess」オプションがチェックされているのを確認

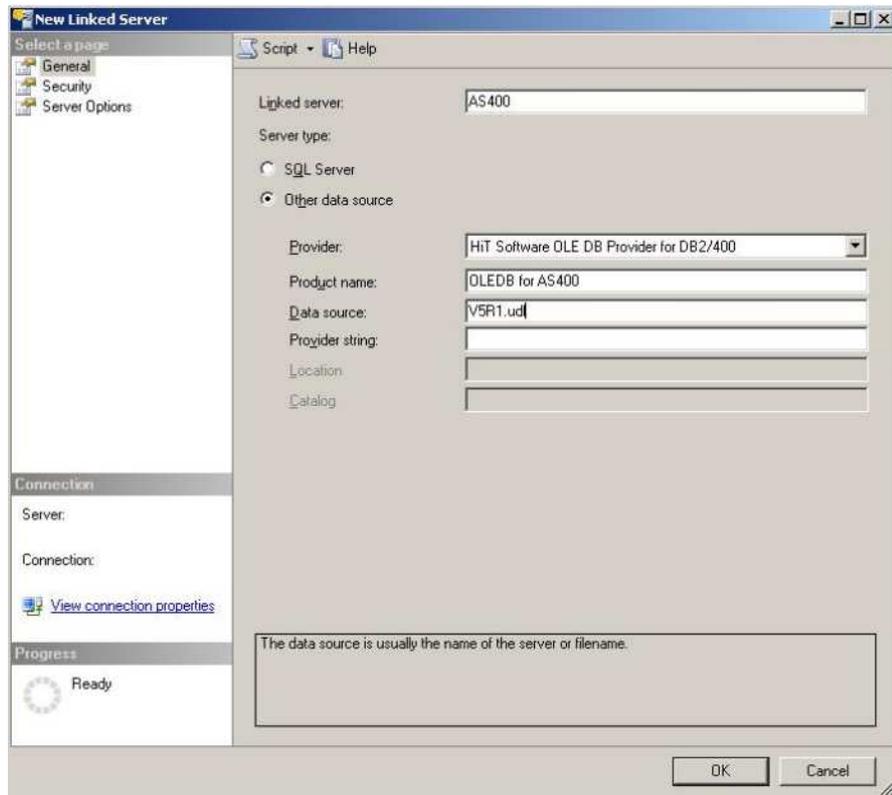


HiT Toolbox を使用して Data Link File を作成

linked server（リンクド・サーバ）を作成する簡単な方法は UDL ファイルを使用し、またデータ・リンク・ファイルとして知られています。1 つのファイルですべての接続パラメータの指定が可能で、すべての今後の接続が簡単に参照できます。データ・リンク・ファイルは HiT Toolbox で作成することができます。データ・リンク・ファイルについての作成・構成についての情報は HiT OLEDB ToolBox Help の「Creating a Data Link in the Toolbox」を参照ください。

一度データ・リンク・ファイルを作成することで、リンクド・サーバの作成時に気を付けることがあります。

- リンクド・サーバ・プロパティの data source フィールドで、UDL エクステンションを含む UDL ファイル名でタイプします。例えば HiT OLEDB ToolBox のデータ・リンクを作成し、「MyDB2」とした時は linked server プロパティ・データ・ソース・フィールドで「MyDB2.udl」と指定する必要があります。
- リンクド・サーバ・プロパティで、product name フィールドをリンクド・サーバとして追加する為に OLE DB データ・ソース名をタイプします。例えば「OLEDB for AS400」
- データ・リンク・ファイルが作成された時、デフォルトで次のパスの下におかれます。
C:\Program Files\Common Files\System\Ole DB\Data Links
もしデフォルト位置で UDL ファイルを保存したときは、SQL Server はそれを自動で検知するのでパスを指定する必要はありません。しかし別の場所ファイルを移動したときはファイルの正確なパスを指定する必要があります。
- もし HiT OLEDB Server/400 を使用した時は、リンクド・サーバ・プロバイダ・ストリングに次を追加する必要があります。
Port Number=8471;Rowset Locate=True;



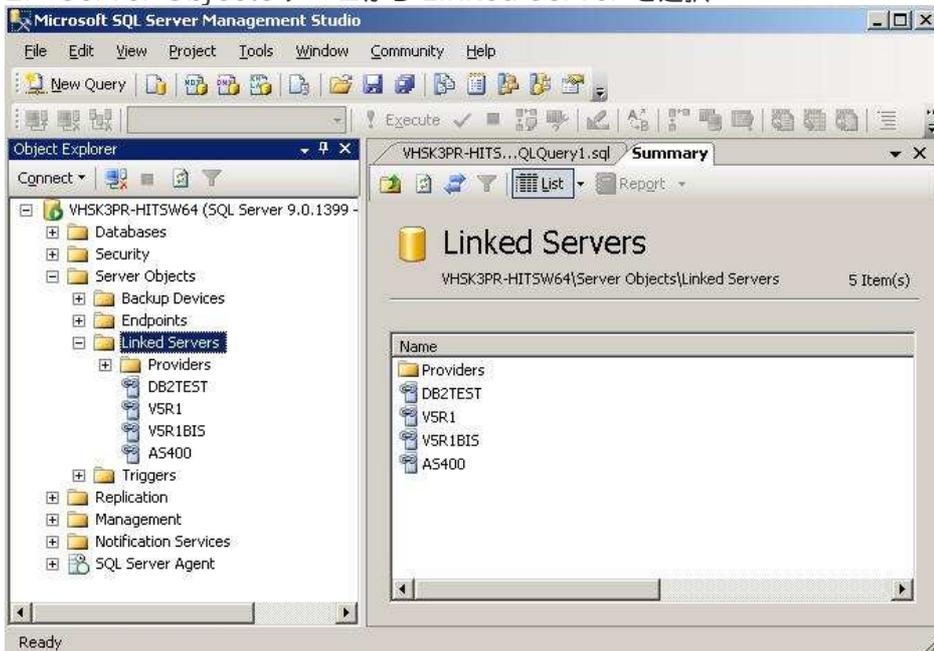
次の 1 から 6 ステップを行い終了させます。

リンクド・サーバを作成するためにデータ・リンク・ファイルを使用しない方法を選択した時は、次のステップを使用します。

SQL Server Enterprise Manager を使用して Linked Server の作成

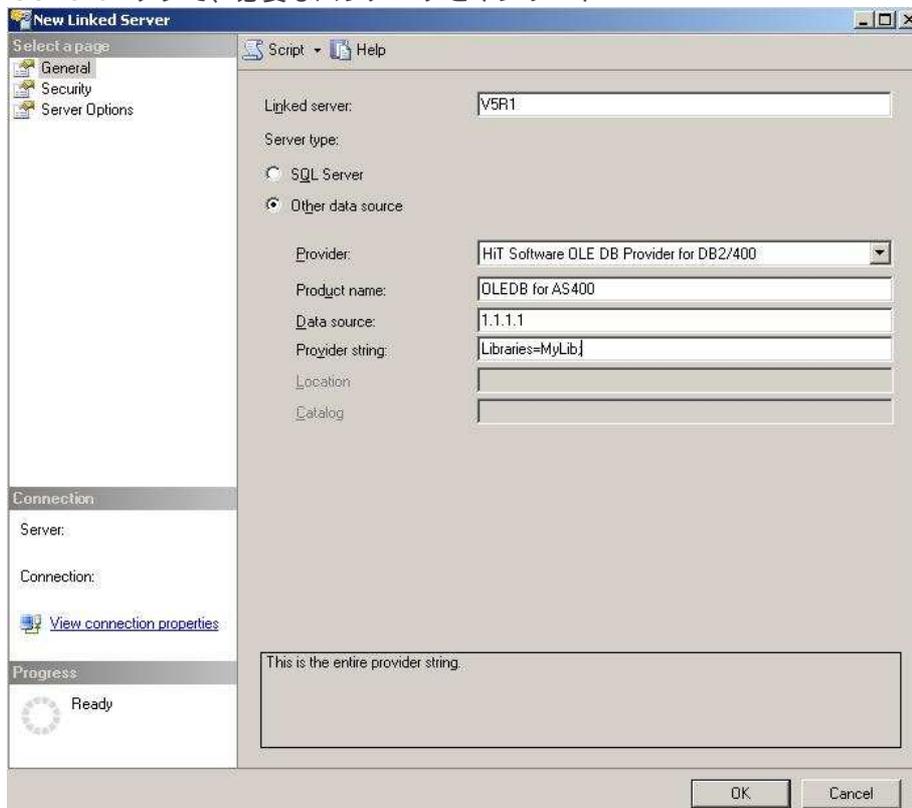
1. Start\Programs\Microsoft SQL Server 2005 メニューから、SQL Server Management Studio をクリック

2. Server Objects メニューから Linked Server を選択



3. Linked Server , New linked Server を右クリック、コンフィグレーション・ウィンドウでデータをインサート

4. General タブで、必要なパラメータをインサート



Linked Server: このリンク・サーバ用のレファレンス名をインサートします。
SQL ステートメントに使用した時に問題を回避するためにスペースが
無い名前を使用することを推奨します。

Provider Name: iSeries/AS400 に接続する場合は「HiT Software OLEDB
Provider for DB2/400」を選択。iSeries/AS400以外に接続する場
合は代わりに「HiT Software OLEDB Provider for DB2」を選択

Product Name: リンク・サーバとして追加するために OLEDB データ・ソースの名
前をインサート

Data Source: ユーザ DB2 の IP アドレスか、データ・リンク (UDL) ファイル名
を指定。

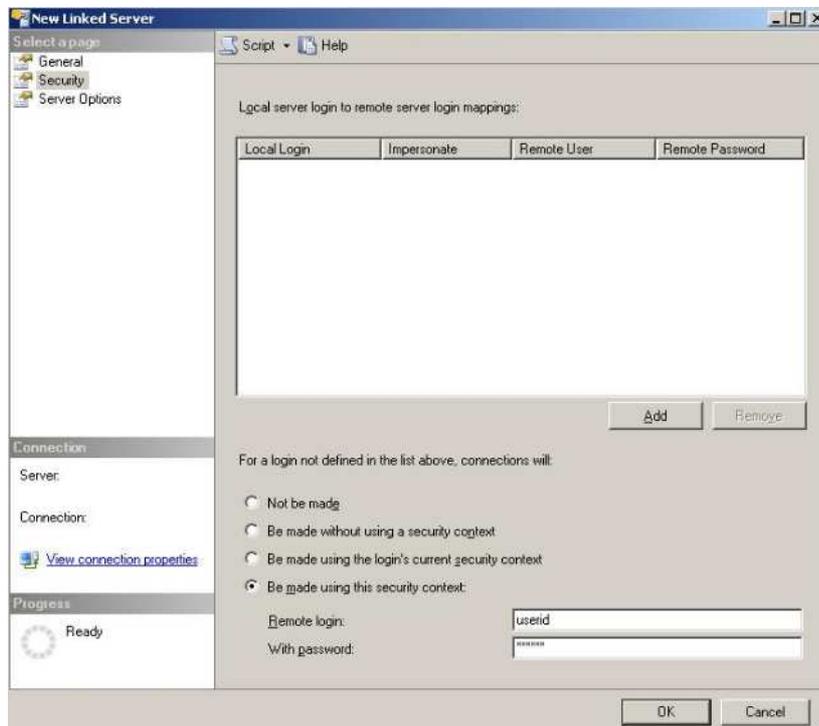
Provider String: 必要なパラメータと接続ストリングをインサート

例:

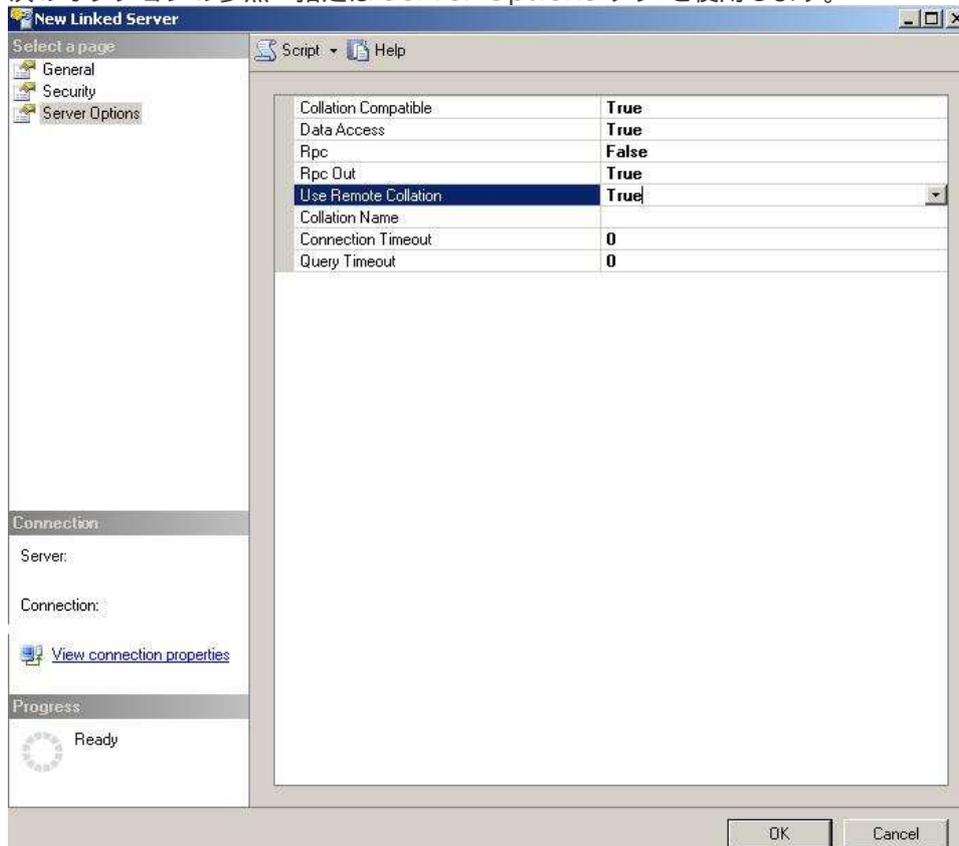
*Libraries=My_libraries; Init Timeout=90;Host Code Page=037;Rowset
Locate=True;*

注: プロバイダ・ストリングのパラメータは大文字と小文字を区別します。

5. Security タブを選択。セキュリティ・パラメータ設定情報に関しては Help をクリッ
ク。



6. 次のオプションの参照・指定は Server Options タブ を使用します。



- キャラクタ・フィールドの「WHERE」と「ORDER BY」クローズを SQLServer ではなく、DB2 で解決させたい時は Collation Compatible を「TRUE」に設定します。Collation Compatible オプションについては HiT Software の knowledge base の Collation Compatible を参照ください。
- Query Analyzer と T-SQL を使用して DB2 ストアド・プロシージャをコールするには「RPC Out」をチェックします。

このオペレーション後にリンク・サーバ上のテーブルは Microsoft SQL Server 2005 にコンパチブルなすべての機能を利用可能になります。

©株式会社クライム
www.climb.co.jp